

放課後等デイサービス自己評価結果公表用

事業所名：YMCAクローパーククラブ

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	はい・どちらともいえない・いいえ	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・法令を遵守したスペースを確保している・活動や人数に合わせていくつかの部屋を利用	・問題なし・少人数なので十分	83.3%/16.7%/0%	・子ども達により良い環境を作っていく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	・学校、社会福祉、民間教育団体など様々なバックグラウンドを持つ職員を配置	・専門性が高い・要望に沿ってくれる	90%/10%/0%	・新しいスタッフも含めて専門性が高めていけるよう研修を行う
	3 事業所の設備等について配慮が適切にされているか	・対象となっている児童にあった設備である	・問題ない	76.7%/23.3%/0%	・子ども達にとって分かりやすい掲示など更なる工夫をする
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	・できる限り全ての職員が参加できるように設定している。参加できない職員には、記録を閲覧できるようにする			
	5 保護者等向け評価表を活用する等、保護者等の意向を把握し業務改善につなげる	・アンケートを実施			
	6 自己評価の結果を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	・3月末に実施			
	7 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・現在は実施していないが、今後必要に応じて実施を検討する			
	8 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修、内部研修を定期的実施			
	9 子どもと保護者のニーズや課題に合わせて放課後等デイサービス計画が作成されているか	・心理検査、アンケートを元に、面談を通して計画を策定している	・面談などでよく話を聞いてもらい把握してもらっている	90%/10%/0%	・定期面談以外に、ご希望に応じて随時面談を実施していく
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	心理検査・ソーシャルスキル尺度などを利用			
	11 チーム全体での活動プログラムの立案	主たるスタッフが中心になりながら、チーム立案を進めている			
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	対象に合わせた課題設定をし、自信に繋がる成功体験をスモールステップで設定している	・子どもは楽しいようです・とても工夫されている	86.7%/13.3%/0%	・長く利用されているメンバーにも配慮をしながら新しい体験も企画していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日、長期休みは社会体験の場を設定。教室内で学んでいる事を活かせるような場面を細やかに設定したい			
	14 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた放課後等デイサービス計画の作成	保護者の意向を踏まえたアセスメントから、その個に応じた個別・集団の組み合わせを作成			
	15 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・主担当者サポートの役割分担をした関わり方を大切にしている			
	16 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・子どもの行動だけでなく、指導者の関わり方について振り返りを大切にしている			
	17 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・次につながるよう情報共有を大切にしている			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断しているか	・定期的に取り組んでいる			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	・自立支援と日常生活の充実の為の活動、創作活動、地域交流、余暇の提供を大切にしている			
関係機関との連携	20 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・主たる担当者が対応している			
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認など）連絡調整を適切に行っているか	・送迎を行っていない。学校行事などについては保護者からの情報共有を基本としている。保護者の希望があれば学校と連携している。			
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現時点ではない			
	23 以前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	・保護者から依頼があれば実施。現時点ではそのようなケースはない			
	24 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・保護者から依頼があれば実施する準備ができています			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・外部の研修も積極的に受けている			
	26 様々な子どもや大人と関われるような活動となっているか	・日常的にはないが、イベントで交流の機会を持っている	・普段学校での関りがある事から必要性を感じない	93.3%/6.7%/0%	
	27 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域のボランティア、大学との連携を行っている			
保護者への説明責任	28 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・契約時に説明し、利用後は文書と口頭で説明を基本としている	・されている	96.7%/0%/3.3%	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・個人面談等で子育てのアドバイスをしている			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	・支援終了後の報告を大切にしている。保護者と会えない時は、電話などで報告をするようにしている	・毎回その日の様子や現状を専門立場から教えていただく事ができ、とてもありがたい。心配な事などにも電話をしていつも熱心に聞いてもらえる	86.7%/10%/3.3%	
	31 保護者に対して面談、相談、助言等の支援が行われているか	・相談の内容により、主たる担当者、専門家などが対応している	・必要に応じ相談ののって頂け感謝しております。	93.3%/6.7%/0%	
	32 保護者同士が関われるような支援がされているか	・例年行っている保護者の集いが、コロナの影響で実施できなかった	・とても良い・必要性を感じない	26.7%/60%/13.3%	

連携支援	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・受付者、解決責任者を選定し体制を整えている	・苦情を言ったことがない	70%/30%/0%	
	34	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・資格情報を活かした情報伝達を心がけている	・問題ない	96.7%/0%/3.3%	
	35	活動概要、行事予定、自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか	・定期的な発行や、活動写真を掲示している	・毎回活動報告を頂いている	86.7%/10%/3.3%	
	36	個人情報に十分注意しているか	・スタッフ研修と採用時の誓約書を交わしている		86.7%/13.3%/0%	
非常時等の対応	37	緊急時対応、防犯、感染症について、適切な配慮がなされているか	・保護者用ハンドブックを今年度作成し、年度当初に配布している	・知らない	86.7%/13.3%/0%	・保護者用ハンドブックをご覧いただき、徹底していく
	38	非常災害の発生に備え、避難場所の確認や避難訓練等が行われているか	・子ども達とは年3回実施。職員間では月例会議後に持つよう努めている	・あまり分からない	53.3%/43.3%/3.3%	・実施後には保護者へも報告を徹底
	39	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・外部研修の受講、内部での実施をしている			
	40	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・そのようなケースが起きていない。起こりうる場合は、説明と計画を実施			
	41	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者から情報を共有している			
42	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットが積極的に活用できるよう、職員の意識向上と会議での定期的な共有場面をもつ				
その他	43	子どもは通所を楽しみにしているか		・毎回楽しみにしている	93.3%/6.7%/0%	
	44	要望に応じてオンラインを使った支援などがなされているか		・オンライン活動を早々に実施してもらった	86.7%/13.3%/0%	
	45	事業所の支援に満足しているか		・例年と違った形でしたが工夫してもらった	93.3%/6.7%/0%	